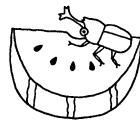




KUNERUASOBI



あきやま保育室 令和6年8月号

猛暑が続いているこの夏。子どもたちは、3階のベランダで水あそびやプールを楽しんでいます。0歳児のつぼみさんでは、初回は泣いてしまっても3階の環境やプールという状況がわかった2回目からは笑顔で入水できるようになった子。1歳児のたんぼぼさんからは大きなプールになるのですが、おっかなびっくりで大人に抱っこされて入水しても水の気持ち良さを感じ水に触って遊び出す子。2歳児のあんずさんからの子達はさすがで、顔に水がかかることにも歓喜の声をあげ躊躇なく水中でワニ歩きをするなど全身で水遊びを楽しむ姿が見られています。水に触れていても屋外にいる時間や水分補給に留意し、安全なプール遊びとなるよう努めながら夏ならではの活動を子どもたちと楽しみたいと思います。プール期間は今日23日までです。準備等のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

☆保育室の生活どうして?シリーズ☆

その149. 夏ボランティアのみなさん

毎年この夏の時期、三鷹市のボランティア活動に参画し学生さんのボランティアを受け入れています。

今年もたくさん市内の小中学生がボランティアにきてくれています。保育室では、小学4年生から受け入れ対象となるので、親御さんからは「この子が保育していただくようで申し訳ないです・・・。」と心配されるお声を何度か伺いました。しかしながら、4年生も社会に出れば立派な振る舞いができるようになっていきます。わたしたち大人には敬体を使って話したり、小さな子どもたちには目線を同じく姿勢を低くして関わろうとする姿が身につけていることに、とても感心させられます。また、先日の縁日の時に来ていた卒園児は、午前中からの準備を手伝う中で「わたしたちも楽しかった縁日が、こんな準備をしてくれていたなんて!!」との言葉が聞かれ、このような活動に参加することで、子どもの視野が広がることも実感させてもらいました。

地域の初めて参加する子が、体験してみて楽しくてボランティアの日を追加してくれたり、保育室を卒園する際に「4年生になったら保育室にボランティアに行く!」と楽しみにしている子もいると聞くと、とても嬉しく思います。

保育室の子どもたちにも、大人以外のいろんな年代の人と触れ合える機会となり、とてもありがたいものです。

あきやまケアルームです!! 8月

7月中旬に入り梅雨が明けて本格的な暑さになってきましたね。7月よりシャワーとプールがスタートしました。天気や安全に配慮して行っています。外でのプールがない日は水風船や氷遊びなどの感覚遊びを取り入れて暑い夏を少しでも気持ちよく楽しく過ごせたらと思います。また、先月は個人面談のご参加ありがとうございました。ケアルームでは個人面談を増やし、よりご家族と情報共有に努めていきたいと思っております。今年度より確認保育(保育参観)を受け付けておりますので、ケアルームで過ごしているお子様の様子を是非見に来てください。7月はお泊り保育、縁日とイベントのご参加ありがとうございました。年長さんになると、保育室と合同でお泊りをします。はじめてお母さんお父さんと離れてお泊りをした女の子は終始ニコニコで楽しめたようでした。翌朝、お母さんがお迎えに来た時に、感動の再会をしてこちらもウルウルでした。お泊り保育を経験して成長を感じますね。ケアルームでは8月に夏休みがあります。夏休みの思い出を聞くのを楽しみにしています。 文責金子

☆年長さんの夏の行事☆

お泊り保育や縁日の主役と、保育室・ケアルームの年長さんは大活躍でした。これらの行事は、一日だけのことではなく日々の保育の中で積み重ねて行うことなので、お互いの存在や役割を意識しケアルームの年長児さんと保育室のあけびさんの距離もぐっと縮まり仲間意識も強まります。同時にやり遂げた達成感も味わえる活動なので、一皮も二皮も剥けた子ども達の成長を感じます。保護者の皆さまにも出店の準備や店員さんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

文責 高橋